

白神通信

～秋田県側白神山地より



ドローンで撮影した岳岱自然観察教育林

研修棟模様替え作戦！

- ・ 中大型哺乳類調査～ニホンジカの生息調査～
- ・ オオハンゴンソウ駆除、苦戦中！
- ・ 転出者の挨拶

令和3年 10月8日 No.100
藤里森林生態系保全センター

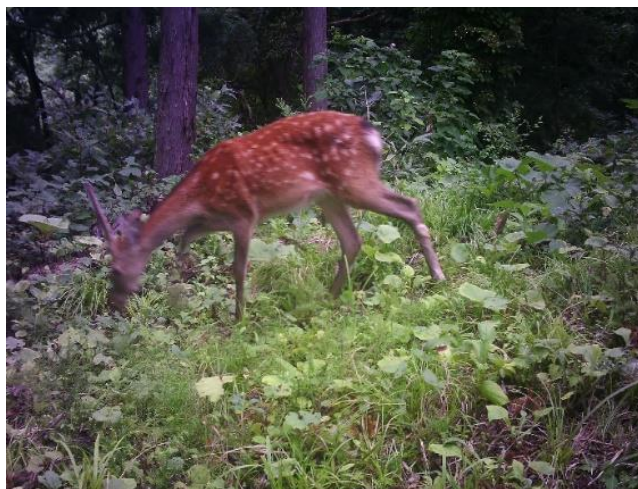
中・大型哺乳類調査～ニホンジカ生息調査～

藤里森林生態系保全センターでは毎年、センサーカメラでの中・大型哺乳類調査を実施しています。近年の調査結果については、藤里森林生態系保全センターのホームページをご覧ください。また、過去の白神通信でも紹介していますので、そちらもご覧ください。

藤里森林生態系保全センターでは中・大型哺乳類調査で撮影された写真を基にニホンジカの生息調査も行っています。ニホンジカは近年東北でも増加していて、樹皮が剥がされる事による立木の被害や、下草等を食べられる事による生態系への被害が確認されています。

当センターで設置しているセンサーカメラにもニホンジカが撮影されており年度毎で撮影箇所は多少異なりますが、平成30年度8頭、令和1年度7頭、2年度10頭、3年度は9月現在で8頭と、今のところ大きな変化は確認されていませんが、令和2年度からはメスも撮影されており、ニホンジカは繁殖力が強いと言われていしますので、今後も継続して注視していくこととします。

これから秋の行楽シーズンで山に入る方も多いたと思いますが、9月頃からニホンジカの繁殖期が始まると言われており、繁殖期のオスは気性が荒く、不用意に近づいたりすると突進等されて大けがをする可能性もあります。ニホンジカから近づいてくることは無いと思いますが、クマと同様に鈴等で存在を知らせるなど注意していただきながら、これからの季節を楽しんでいただければと思います。(入山)



今年撮影された雄鹿(夏毛)



今年撮影された雌鹿



意外に鋭い雄鹿の角(冬毛)



出会わないよう要注意のツキノワグマ

研修棟模様替え作戦

前回の「岳岱多目的展示施設の模様替え作戦」に続き、今回は「研修棟模様替え作戦」を紹介したいと思います。

学習室ではパネルを設置して、写真展を開催しました。今のようにチェーンソーや重機を使わず、大きなノコギリで木を切り倒してソリなどで木を運んでいた時代の林業の様子や、白神山地周辺で見られる季節毎の草花、美味しい山菜やキノコ、逆に毒を持つ野草やキノコ、森に仕掛けたカメラに写った動物たちの様子など**森林環境教育**に役立つ様々な写真を展示しています。また、国有林で昔使われていた道具なども合わせて展示しています。いつでもお気軽にお立ち寄り下さい。



学習室の写真展



山の凹凸を見たり出来る航空写真と立体鏡



昔国有林でも使われていたノコギリ



実習室では、木育の一環として木工制作ができるように、木材や木の実などの材料をはじめとして、金槌などの工具類や小物など様々な物を用意しています。作業用の机などもありますので、手ぶらで来ていただければどなたでも木工制作が楽しめるようになっております。教育関係機関やNPO等民間団体の方々はもちろん、個人の方でもご利用になれますので、使用希望の方は藤里森林生態系保全センターまでご連絡下さい。また、ホームページで紹介していますので、そちらもご覧いただければと思います。(谷川) (<http://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>)



← 実習室に設置した材料や工具



オオハンゴンソウ駆除、苦戦中！

前号でも少しだけご紹介した、特定外来生物のオオハンゴンソウ。繁殖力が非常に強く、白神山地遺産地域に侵入した場合、生態系に大きな影響を与える恐れがあります。

遺産地域に近い小岳方面を優先的に駆除する予定だったのですが、今年はどうとう粕毛林道の通行止めが解除されず、通行止め手前と岳岱方面の駆除となってしまいました。



図に黄色く示した箇所は、各林道でオオハンゴンソウが確認された最奥に位置します。小岳方面は遺産地域の緩衝地帯から約1km程度しか離れておらず無視できない状況となっているため、来年は合同パトロールの1つの項目として取り入れることが出来ないか検討中です。



くるみ袋の駆除箇所に設置した遮光シート

また岳岱方面は昨年同様に作業を行いました。目が慣れるほどに新たな株が発見されるうえ、7月に根を掘り取った箇所では9月には再び小さな株が成長、とりあえず蕾だけ切り取った箇所は脇芽が多数伸びて更に花を咲かせている始末…。なんとか効率的かつ確実にオオハンゴンソウを枯死させる方法はないものかと、根を掘り取った後に遮光シートを敷いて様子を見るなど、試験的な試みも実施中です。(鈴木)

転出のご挨拶

一般職員 鈴木千裕 (10月1日付け異動)

昨年4月に新社会人として配属になり、経理、総務、広報、森林教室、野生動物調査の補助など、幅広い業務を経験させていただきました。コロナ禍の中知らない土地でスタートした新生活は正直心細くくじけそうになることもありましたが、職員や藤里町の皆様にあたたかく見守っていただけのおかげで前を向いて歩いていくことができました。お世話になった皆様に心より感謝申し上げます。異動先でも藤里での経験を活かしながら、新しい業務に積極的に取り組んでいきたいと思っております。一年半という短い期間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

(発行) 林野庁 東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター



〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添 24-3

TEL:0185-79-1003 FAX:0185-79-1005

<https://www.rinya.maff.go.jp/tohoku/syo/huzisato/>

